

令和8年度 企業見学会

8月31日「十勝毎日新聞社」にて見学会を開催しました。

今回の見学会は、仕事の魅力発見フェス参加者に対し、体験した仕事を企業現場で見学するものです。

当日は2事業所から3名の求職者に参加いただきました。



仕事の魅力発見フェスでは“おまかせフォト”というサービスを模した入力作業を体験しました。見学会ではフェスの作業に加え、様々な業務の様子を見学しました。



当事者が働く様子を見学

古い記事のデジタル化作業を行っている実際の在職者の様子を見学しました



新聞の印刷室もあります

速報記事の差し替えなど限られた時間で新鮮な情報を届けるため臨機応変に対応しているとのことでした



質疑応答

「仕事に必要な能力は何ですか」などの質問が参加者からありお答えいただきました

企業見学会を終えて

仕事の魅力発見フェスで体験した仕事や実際に働く当事者の方をみることで、仕事のイメージが鮮明になったようです。

仕事を選ぶときはその企業の業種や、それに関連する業務内容に注目しがちだと思います。

今回の見学では、同じ会社でも様々な仕事があること、実際に働く方の様子など、実際に見ることで具体的なイメージを持つことができました。フェスでの仕事体験をきっかけに、求職者の興味やモチベーションが高まり、実習・就職へと一歩進んでいけることを期待しています。



全10回のうち2回目の企業見学会を実施しました。

当センターに寄せられる相談では、障がい者の法定雇用率の引き上げによる雇用相談が増えています。また、地域の障がい者雇用達成割合の引き上げを目標としている行政機関の後押しもあり、企業の需要に求職者の供給が追いつかない状況がすでに起こっています。A型・B型を利用している方からの就職の流れを作っていくために、当センターとしては更なる仕組みづくりが必要と感じています。求職者の働きたい気持ちを引き上げ、後押しできるような活動を関係機関の皆さんと検討してまいります。